

BPS という仕事と就活される方へのメッセージ

第4期 OG 小合 麻耶

私は新卒の職種別採用で現在の会社に入社しました。現在は、日本ヒューレット・パッカードという会社⁴でビジネス・プロセス・スペシャリスト（BPS）として働いています。この長い職種名を聞いて、具体的にいったい何をしているのかよく聞かれますが、説明してもあまりイメージがわからない方が多いので、このたびは私の仕事や会社の紹介をしたいと思います⁵。（現状私の知る範囲ではこの職種に類似した職種は他社にはないため、社会人同士ですら、あまりイメージがわからないようです。）

一言で言えば、「社内コンサルティング」です⁶。社内コンサルティングと聞いても、やはりどんな仕事をしているのかイメージできない人が多いと思います。もう少し落とし込んでみましょう。

会社には目標や信念があります。そして、国には法規制があり、コンプライアンスという考え方があります。その信念や法規制を守りながら、コスト的に（人員・時間・費用などのあらゆる面で）効率の良い道を編み出して、展開するのが私たちの仕事だと思っています。こういうと格好がよく聞こえてしましますが、やはり泥臭く細かな仕事が多いのが実情です。

おいしい手料理を作るための『最高のレシピ作り』をイメージするとわかりやすいかもしれません。作りたい料理=目標・ゴール、とすると、その料理を勘だけで作る人もいますが、多くの方はレシピを見ながら作ります。ただのレシピを作るのは簡単でも、あらゆる側面から見て『最高のレシピ』を作るのは大変なことです。その料理にまず何が必要かリスト化して、そのリスト化された材料をどこで買うか考えます。どこで買うのが品質と費用と鑑みて効率が良いのか、もしこだわりたい点があるならば、どの材料にこだわるのか。材料がそろえば、何から切るべきか、どの調味料をどのタイミングで入れるべきか、など順番を考えます。順番が決まれば、その順に沿って、実践していきます。そして出来た料理を味見したり、ほかの人に試食してもらったりします。何度も作るうちに買い物の順、買出しの場所、調理のタイミングを工夫して、より最高の料理とレシピに近づけます。このように意外と労力と手間がかかる仕事です。

『最高のレシピ作りは意外と大変である』ということをイメージしていただいたところで、下記にて、現在本当に行っている仕事を紹介します。私はお金の動く契約業務関連の部署に配属されているので、下記の紹介においても契約視点での記述が多いと思います。

□ 仕事紹介1：合併・吸収による標準化・平準化

日々会社は大きく成長しようとします。そのための合併や吸収はよくある事象です。合併・吸収をするということは違う文化を持った会社と一緒にになり、今までにはない製品やサービスが当然のように自社に

⁴ 通称はHPといいます。近年では、コンシューマー向けの商品も増えてきましたので、ご存知の方も多いかと思いますが、主にコンピューター、コンピューターシステム、ソフトウェア製品の開発・製造。輸入・販売・サポートをしている会社です。

⁵ あくまでも私自身の解釈や見解なので、これが全てとは思わないでいただければ幸いです。

⁶ ある特定の部署に数人置かれる職種のため、この職種に対して部署があるわけではありません。

入ってきます。ただ新製品ができるということとは違い、自社の既存の製品として扱われるため、購買したいとお客様に言われたときに、購入意志→見積提示→契約→出荷→納入→保守運用→更新契約、という流れが自社の製品と同じようにスムーズに提供できる環境を作る必要があります。この購入意志から更新契約までの流れは、会社によって違う形態をしている場合が多いため、自社の形態や文化に合わせるものが環境・コンセプト作りとなります。

ここでの私、私たちの仕事は、自社の形態に合わせるためには現状がどのような状態で、何が足りず、もし自社のシステムでまかなえない部分を持っているとしたら、その部分はどのように扱うべきか細かくもれなく考えていきます。たとえば、登録環境が整っていない、提供できる環境が整っていないなどを洗い出し、どのように賄うと一番効率的かという道筋を考えます。また、そのうえで人がどのくらい必要となるのか、現状の人員で問題ないかなども考えます。そして、どのように段階を踏んで環境を作るか、というプロセスを作ります。プロセスができたなら、必要に応じてマニュアル化して展開します。

□ 仕事紹介 2：組織変成による混乱軽減

弊社は、より効率よく利益を生み出せる組織体系を求めている会社だと私は感じています。そのため、組織の体系がよく変わります。突然組織体系が変わる、と言われて混乱しない人はいません。その混乱をより軽減するために準備をします。ここでの私の仕事は、現状の体制の洗い出し・ヒアリング・分析をし、組織体系変更後のその仕事がどのように変化するかさらに洗い出し、移行の仕方についてステップ毎に細かく考えるという仕事です。

□ 仕事紹介 3：外国の製品・保守導入

やはり外資系の会社なので、製品のほとんどは外国で作られていますし、その保守運用サービスにつきましても、ベースは海外で考えられていて、そのベースの考えをもとに日本バージョンのサービス仕様などが考えられます。ここでの私の仕事は、日本の商慣習を鑑みて海外で考えられたそのサービスが受け入れられるか（契約として締結されるか）、日本の法規制から逸脱しないか、現状の仕組みや環境で人をまわるか、を判断します。そして、受け入れが決定したら、日本向けの受け入れステップのプロセス作りと資料を作り、契約情報の登録者（現在は大連で雇用されている人材）へ展開します。

□ 仕事紹介 4：新システム導入

システムを開発する仕事はしていません。ある状況を改善するために新しいツールやシステムが開発され、導入するという連絡がきます。その開発されたシステムをスムーズに登録者や社員へ展開するのが私や私の同僚の仕事です。具体的には、スムーズに導入するために現状の状況のヒアリングをします。そして、新しいシステムが導入後は、導入してどのように状況は改善され、どこをさらに改善してほしいかをシステムの利用者にヒアリングをします。そして、その情報を精査し、より良いシステムへと変化させる提案を練り上げます。その繰り返しです。

そのほか、大連への業務移管・移管後の調整・営業計画支援・営業生産性向上への支援などの仕事も行っていきます。これらの仕事は1つずつこなしていくのではなく、同時多発的に動いている状況なので、現

状飽きることなく仕事を続けています。

仕事内容について、私の説明が稚拙である所為で尚チンプンカンプンのままでしたら、お詫び致します。

■ これから就職活動を控えている皆さんへ

私も学生時代にさまざまなインターンを経験してきましたが、今感じることは、どんなにインターンを経験しても学生のうちに知りうる範囲で自分に向いている仕事を断言するのは難しいということです。どんな学生でも、学生の中に仕事のすべてを知ることはできませんし、働く方から説明いただいてもピンと来ないことも多いと思います。そのような状況下で、各自の持つ仕事に対するイメージや願望と実際の働き方を一致させるのは大変困難だと思います。ギャップがあっても当然のことだとは思いますが、就職活動をする際には、できる限り仕事へのイメージギャップをなくすべく、面接時の質問タイムや OB・OG 訪問を活用してみてください。最終的に企業を選定する段階になったときにも有効ですし、面接時にも有効だと思います。

また、どのような働き方をしたいか考えておくことも重要だと思います。ワークライフバランスと近年よく言われています。好きな仕事に就くことも大事ですが、好きな仕事に就けたとしても自分の時間を削ってでも本当にしたい仕事なのか、自分の時間が削られることで「好き」ではなくなるのか、自分の時間はとれなくても好きな仕事に就ければ本望なのか、ということを考えるのは意外と重要だと思います。

入社後に「こんなはずではなかった！」と思わないよう納得のいく就職活動をできるよう応援しています。



大連チームとの日本観光にて（著者は前列中央）